

豊富な海産物を水揚げする白糠漁港と太平洋を一望でき、アイヌ弔魂碑が建立されている東山公園のふもと、森に囲まれた空間の中に、アイヌ文化の拠点として「ウレシパチセ」が誕生しました。

「ウレシパチセ」とは「互いに育む家」を意味し、アイヌ伝統文化の体験教室や文化交流、国際交流、情報発信の場として文化の振興を推進します。

古来より大切に守り伝えられてきた歌や踊り、自然と共に生きるアイヌ民族の文化を体感してください。



# ウレシパチセ施設紹介



## ③研修室

文様刺繡、リムセ体験、ムックリ演奏などアイヌ文化を学べる体験教室を開催します。



## ④展示コーナー

文化伝承されたアイヌ衣装や祭事の道具や木彫の展示をしています。



## ⑤調理室

伝承アイヌ料理教室を開催します。



# ウレシパチセ

〒088-0333 北海道  
白糠郡白糠町東3条北1丁目2番地27  
電話・FAX/01547-2-5668  
開館時間/10:00~18:00  
休館日/月曜日・12月31日~1月5日



# 白糠アイヌ協会の活動

## 三大祭

白糠アイヌ協会は、毎年「ふるさと祭イチャルパ(先祖供養)」「フンペ(鯨)祭イチャルパ」「ししゃも祭(安全操業・豊漁祈願)」の三つの行事を行っています。これらの祭りは「伝承儀式」として「カムイノミ」(火の神への祈り)、「ヌサオンカミ」(御幣への祈り)、「イチャルパ」(先祖供養)、「奉納舞踊」、「供養祭会食」が行われます。

### ふるさと祭イチャルパ 先祖供養祭 8月第1土曜

祖先を偲び、供物を送り、この世で生きている人たちが無事に暮らせるように願うとともに、アイヌ文化を次の世代へ伝えていくことを誓う行事



### フンペ(鯨)祭イチャルパ 9月第1土曜

白糠のアイヌに伝わるフンペ(鯨)伝説をもとに、自然と共に生きることの大切さを確認し、恵みを与えてくれる神への感謝とアイヌ文化の伝承、発展を誓う行事



### ししゃも祭 安全操業・豊漁祈願 11月第1土曜

白糠のアイヌに伝わるししゃも伝説をもとに、自然と共に生きることの大切さを確認し、恵みを与えてくれる神へ感謝し、アイヌ文化の伝承を誓う行事



## 古式舞踊

アイヌ民族は、祭りや祝い事など、さまざまな場面で歌い踊り、神々へ感謝の気持ちを伝えます。

「アイヌ古式舞踊」は、国の重要無形民俗文化財(1984年指定)として全道各地で保護されており、白糠町では、白糠アイヌ文化保存会が「フンペリムセ」(鯨の踊り)、「アトウイソーリムセ」(舟こぎの踊り)、「クリムセ」(弓の踊り)などの保存伝承に取り組んでいます。



### エムシリムセ(剣の歌舞)

儀式のときの奉納舞踊のひとつで、掛け声だけで踊る古い時代の歌舞です。家の屋根裏にひそむ魔物を追い払うため、あるいは出陣の前に演じたものが起源と考えられています。



### クリムセ(弓の歌舞)

「狩人が山奥でふと空を見上げると、一羽の美しい鳥が飛んでいた。その鳥を射ようとしたが、あまりの美しさに感動し、弓を引くことができなかつた」という話がもとになった踊り。



と烏来区は自治体間の友好交流提携を締結し、先住民族の文化を礎に、未来に向かって幅広い分野での交流推進を目指しています。

烏来区原住民編織協会・白糠アイヌ協会友好交流提携締結 2016.11.21



烏来区・白糠町友好交流提携の締結 2017.7.14

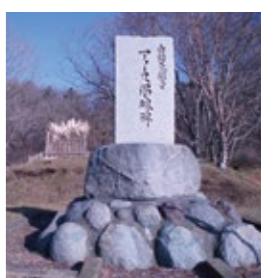


## 記念碑

### 白糠先駆者アイヌ弔魂碑

1979年建立

【碑文】白糠はアイヌ語のシラリカ(潮溢る処という意)から名づけられたもので、北海道でも自然の恵み豊かな集落として早くからひらけた由緒ある土地です。この白糠の源は、まさに先駆者としてのアイヌ民族の尊い努力によってつくりあげられたものであります。白糠開祖の礎として貢献されたアイヌ民族の偉業を偲び、この地に骨を埋めた先人アイヌを顕彰するため、ここに全町民の総意をもってこの碑を建立いたします。



### フンペリムセ発祥地碑

1996年建立

【碑文】アイヌウタリは、太古から、天の恵みによって食べ生きぬいてきた。時として、天と自然の恵みが少ないときもあった。あるとき、西方でカラスの鳴き声が激しいので行くと、パシクルトウの浜辺に大きなフンペが波に寄せられていた。シラヌカコタンのウタリは、このクジラを天惠の食料として感謝していただいた。その場で即興的にリムセが舞われた。それが今に伝承されている。

